KC#603

1. 船底構造

- 相対変位は、船底/内底板につく隣接フロアの交差箇所から基線までの距離として定義する。
- 基線は、下部スツール前部につくフロアの交点と下部スツール後部につくフロアの交点を直線で結んだ線として定義する。（図１の青い線）
- 考慮する防撓材の面材から取り付け板までの方向の変位を正として定義する。

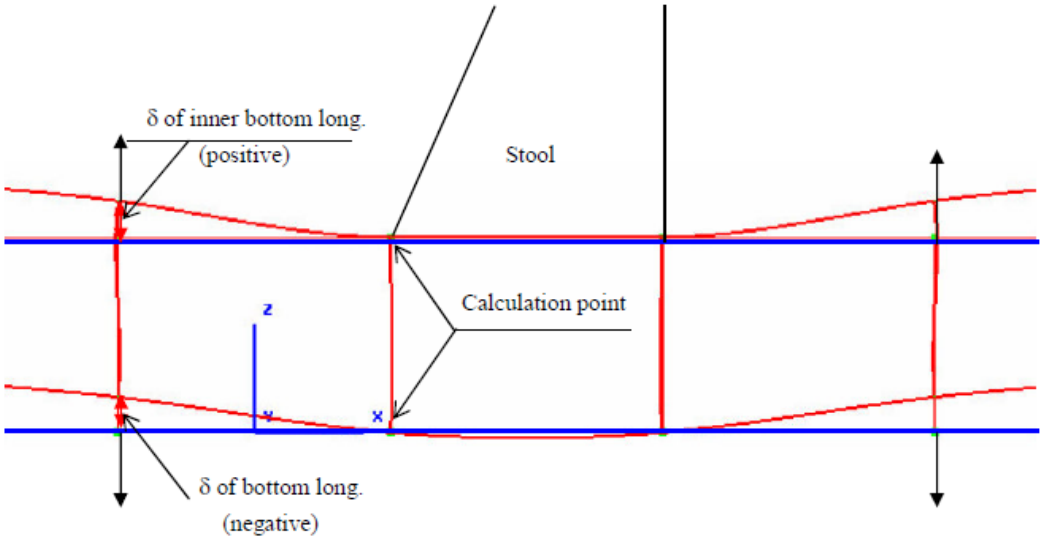


*Figure1*

2 船側構造

- 相対変位は、取り付け板に隣接するトランスリングの交差箇所から基線までの距離として定義する。
- 基線は、隔壁に垂直な線として定義する。（図２の青い線）
- 考慮する防撓材の面材から取り付け板までの方向の変位を正として定義する。

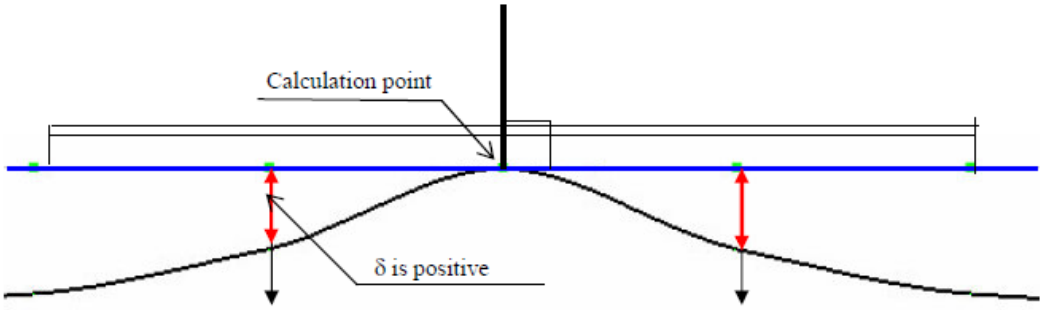


*Figure 2*